広島県感染症発生動向週報

[広島県感染症予防研究調査会]

1. 五類定点疾患週報情報

令和7年第33週(令和7年8月11日～8月17日)【速報】

No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号	No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号
1	急性呼吸器感染症(ARI)※2	2,054	24.75	-	↗	11	突発性発しん	12	0.25	0.20	
2	インフルエンザ ※3	17	0.20	0.16	↘	12	ヘルパンギーナ	18	0.38	0.33	↓
3	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	417	5.02	-	↗	13	流行性耳下腺炎	1	0.02	0.04	
4	RSウイルス感染症	15	0.31	1.22	↘	14	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.02	
5	咽頭結膜熱	5	0.10	0.21	↓	15	流行性角結膜炎	14	0.88	0.29	↗
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	47	0.98	0.53	↘	16	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	
7	感染性胃腸炎	119	2.48	1.90	↓	17	無菌性髄膜炎	1	0.05	0.05	
8	水痘	4	0.08	0.06	↓	18	マイコプラズマ肺炎	39	1.95	0.45	→
9	手足口病	11	0.23	1.55	↘	19	クラミジア肺炎 ※4	0	0.00	0.00	
10	伝染性紅斑	65	1.35	0.00	↘	20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	

※1 過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2～6及び12)を含む) ※3 鳥インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

発生記号(前週と比較)

	ARI定点(内科)	ARI定点(小児科)	眼科定点	基幹定点
疾患No.	1～3	1～13	14,15	16～20
定点数	35	48	16	20

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

● 新型コロナウイルス感染症(Covid-19)の定点当たり報告患者数が呉市保健所管内で注意報開始基準値(定点当たり:8)を上回りましたので、令和7年8月21日、県内に「新型コロナ医療ひっ迫注意報」を発令しました。

対象疾患名	警報開始基準	警報継続基準	注意報開始基準	県内の発令状況	保健所別の流行状況(定点当たり)						
					西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
伝染性紅斑	2	1	-	警報発令(R7.5.22発令)	1.29	2.40	1.60	0.33	1.93	0.29	0.86
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	13	8	8	注意報発令(R7.8.21発令分)	5.92	2.88	7.67	4.60	2.31	9.09	5.91

【急増減疾患(前週比2倍以上増減)】

- 急増疾患 なし
- 急減疾患
  - 咽頭結膜熱 (22件 → 5件)
  - 感染性胃腸炎 (290件 → 119件)
  - 水痘(入院例) (13件 → 4件)
  - ヘルパンギーナ (95件 → 18件)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7	1	2			2	1	1
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2							2
四類	3	日本紅斑熱	2			1				1
		レジオネラ症	1	1						
五類	68	梅毒	1					1		
		百日咳	67	10	19	9	1	14	3	11

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>